

職業・人材の変化/進化について ～ 「観光産業」 編 ～

リクルート 進学総研
産業分野研究チーム



調査データを引用される場合は
出典（「リクルート進学総研」）を明記いただきますようお願いいたします
All rights reserved Recruit Co., Ltd.2026

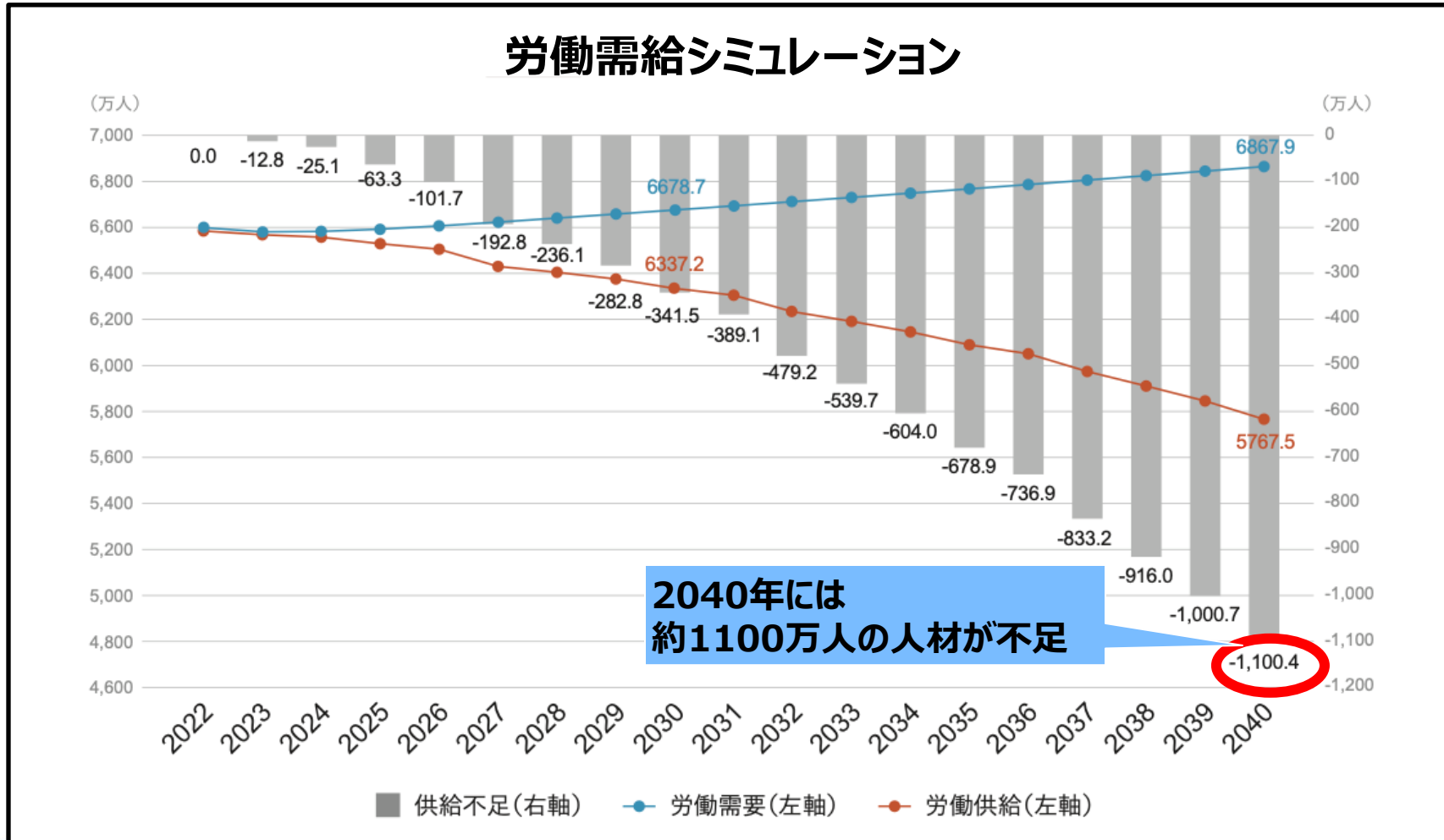
本動画の目的

観光産業分野を取り巻く現状と、
業界の変化を踏まえ、
今後、育成が求められる人材像を明らかにし、
学校経営及び募集広報戦略検討の
一助としていただくこと。

アジェンダ

1. はじめに
2. 観光産業分野の現況
学生募集
3. 観光産業分野の現況
産業動向
4. 観光産業分野の変化／進化例
5. 学びのアップデートのために（まとめ）

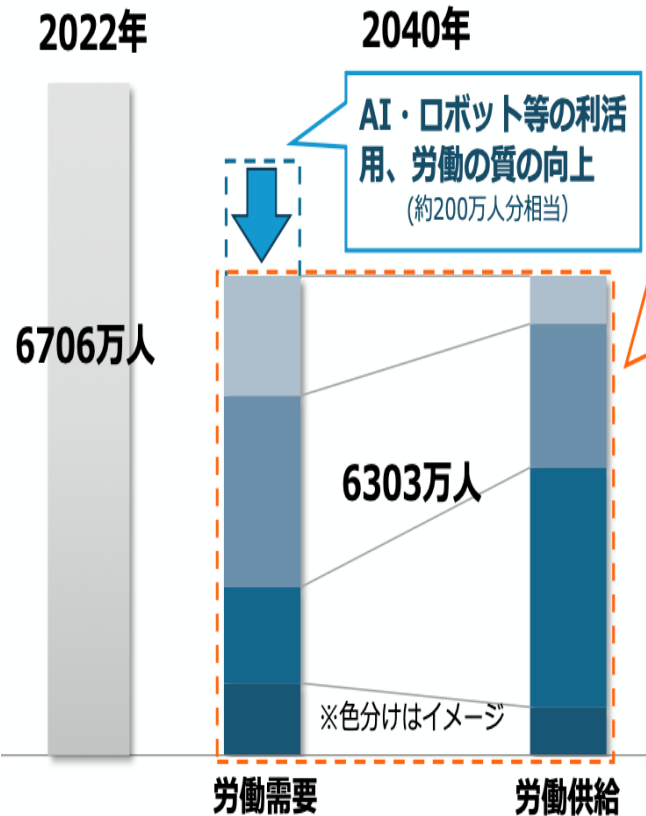
2040年/人材供給1100万人不足のリアルと対応



引用：「未来予測2040」リクルートワークス研究所

2040年リスク対応→テクノロジー・生産性・リスキリングが必須？

2040年の就業構造推計（改訂版）の概要

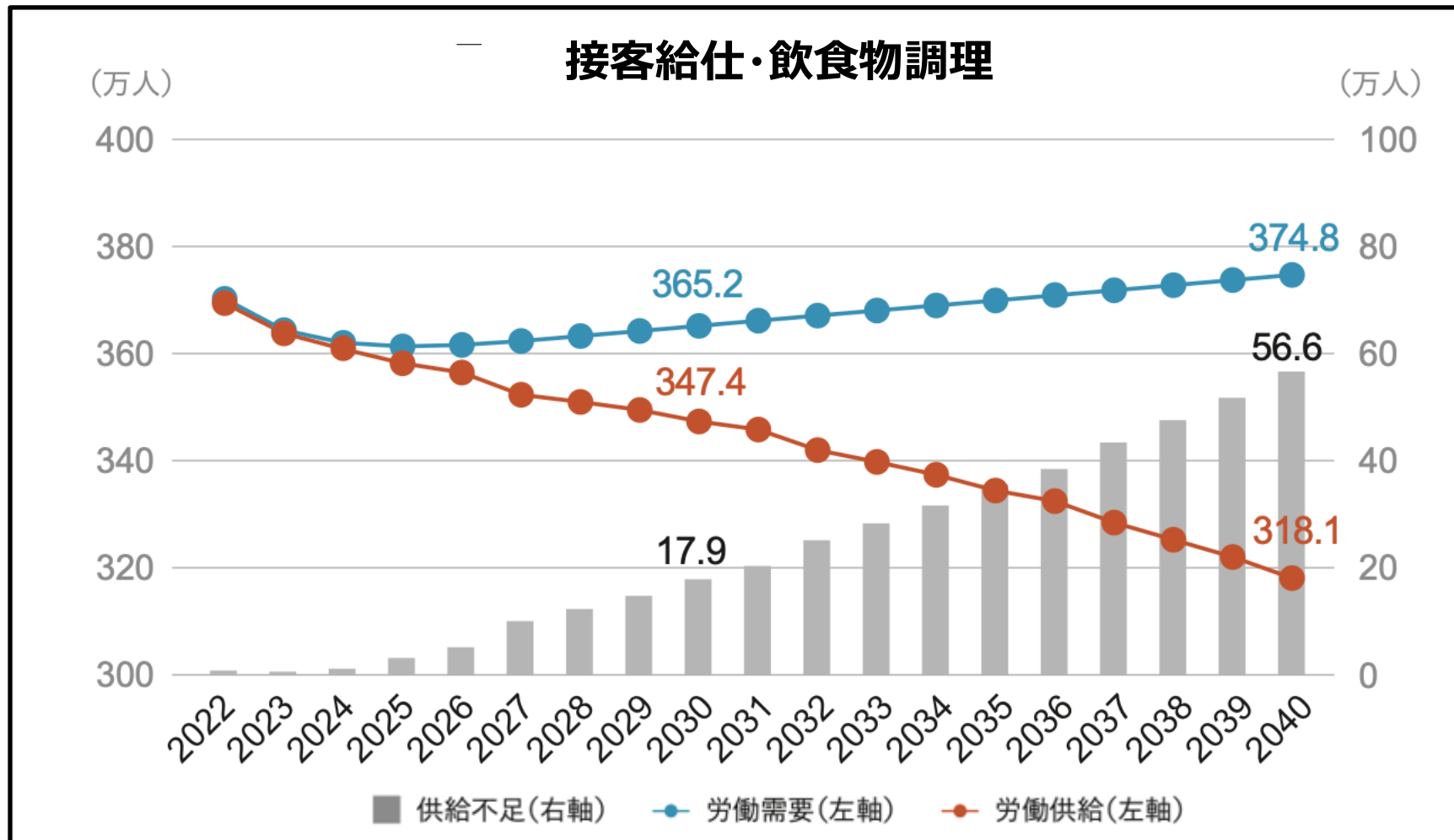


職種別	専門職	うち AI・ロボット等の 利活用を担う人材	事務職	現場人材	うち 生産工程従事者
2040年 需給ミスマッチ	-181万人	-339万人	437万人	-260万人	-206万人
2040年需要数/供給数	1867万人/1686万人	782万人/443万人	1039万人/1476万人	3283万人/3023万人	731万人/525万人
2022年就業者数	1288万人	236万人	1455万人	3637万人	835万人

学歴別	高卒 (普通科)	高卒 (工業科)	高専卒	大卒・院卒 理系	大卒・院卒 文系
2040年 需給ミスマッチ	32万人	-91万人	-15万人	-124万人	76万人
2040年需要数/供給数	778万人/810万人	538万人/448万人	77万人/62万人	899万人/775万人	1549万人/1625万人
2022年就業者数	899万人	534万人	64万人	689万人	1678万人

職種・学歴間のミスマッチ

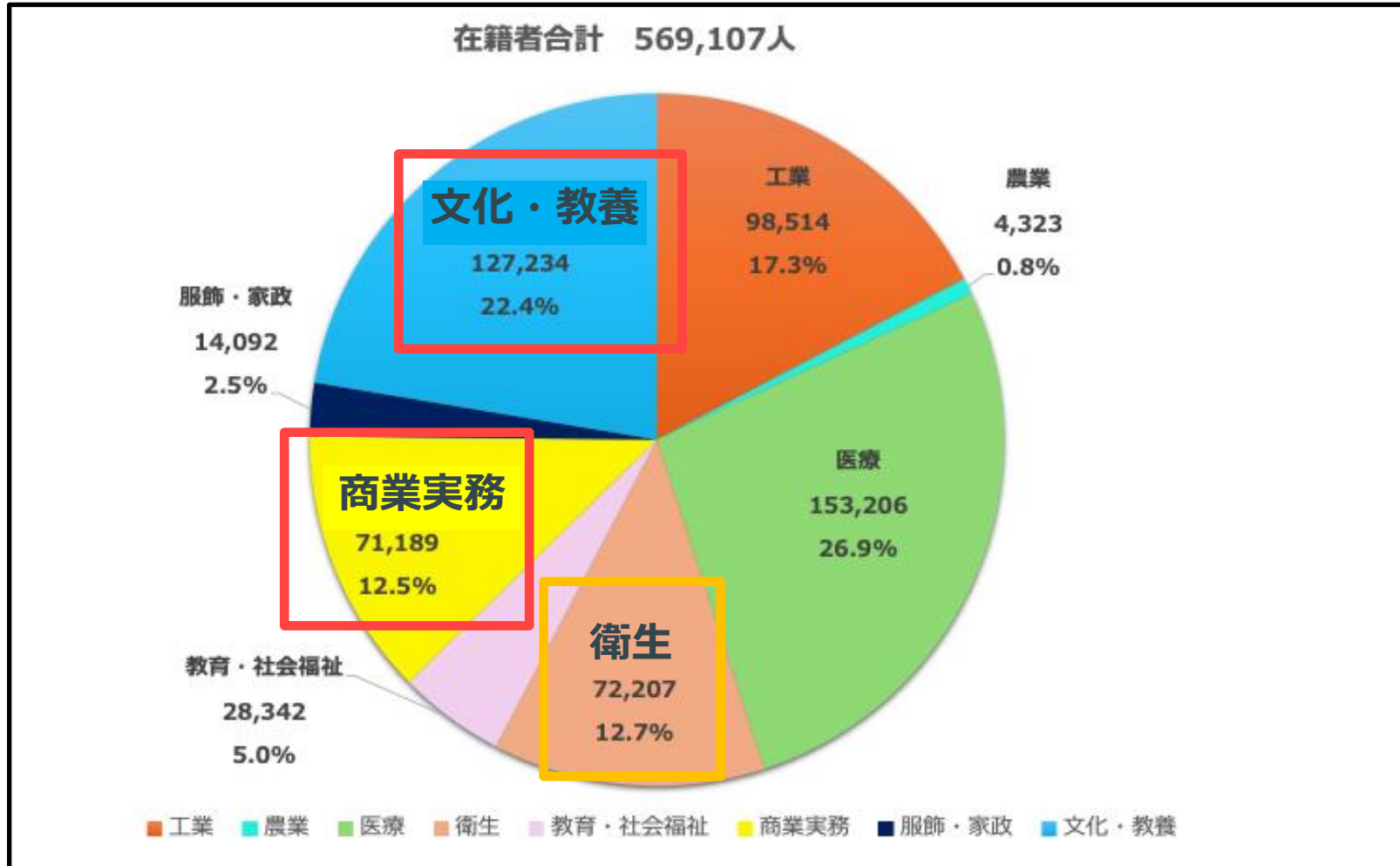
観光関連産業を含む「接客給仕・飲食物調理」系は56.6万人不足



引用：「未来予測2040」リクルートワークス研究所

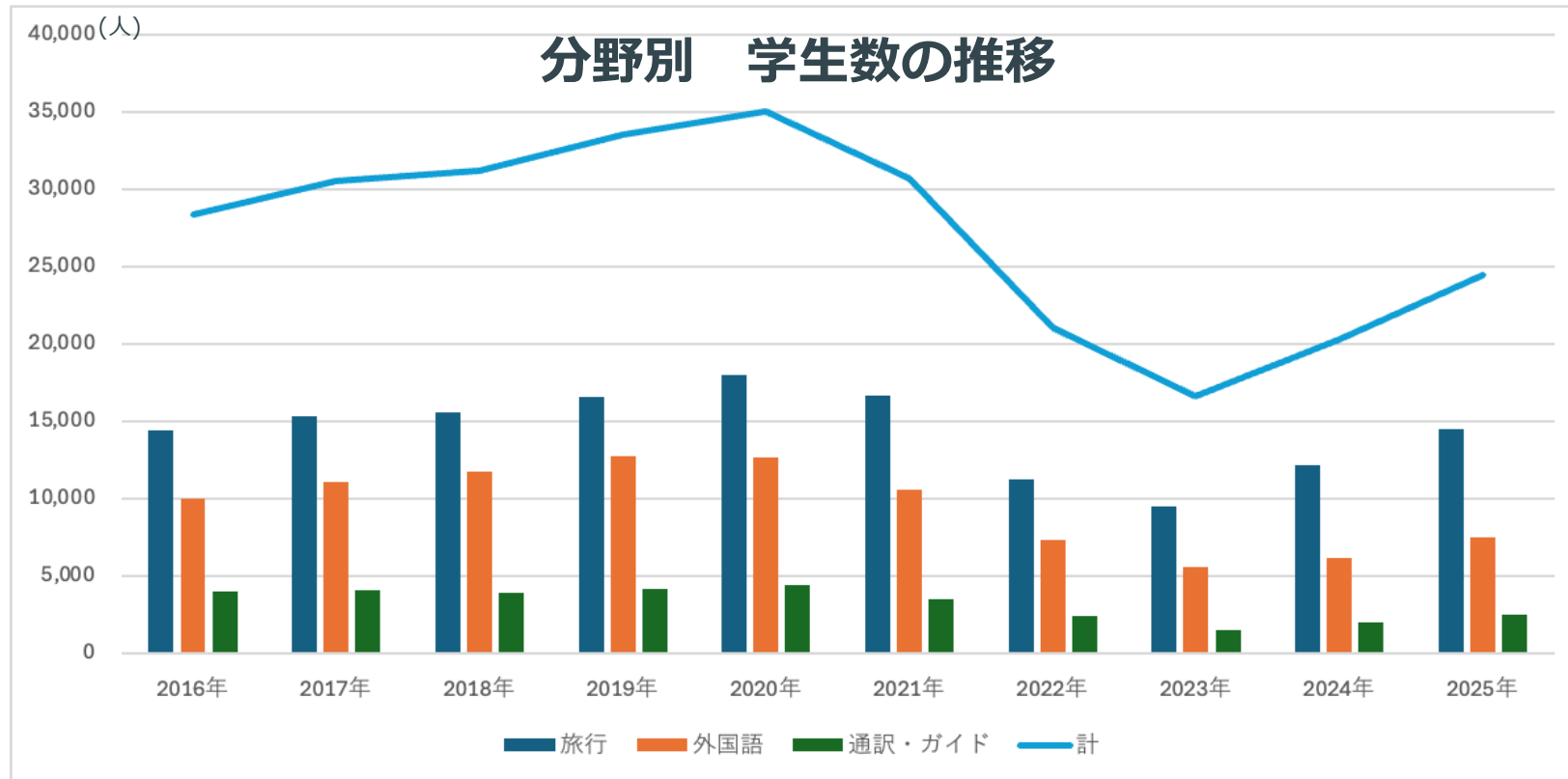
約2.4万人+約0.7万人が潜在「観光産業人材」

※（商業実務系旅行14,474+文化・教養系外国語7,496+同系通訳・ガイド2,476）+（衛生系調理3,703+同系製菓・製パン3,024）



出典：文部科学省 令和7年度「学校基本調査」より

（学生数）コロナ禍で全体約4割減も、旅行系は維持、語学系はテクノロジーと大学シフトか？

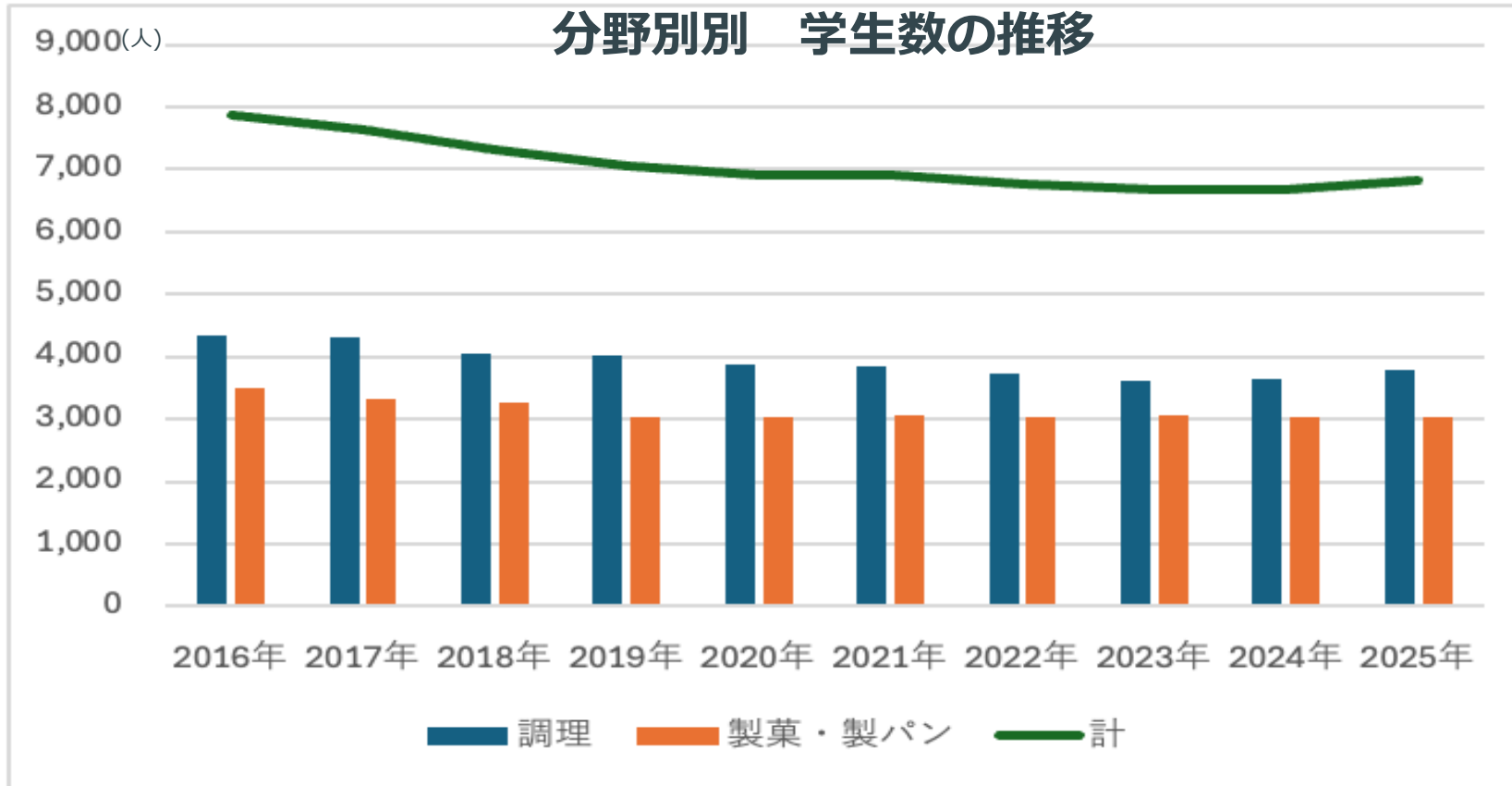


2016年 28,368人
▼
2025年 24,446人

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
旅行	14,400	15,367	15,570	16,562	18,033	16,627	11,258	9,526	12,140	14,474
外国語	9,967	11,079	11,757	12,793	12,639	10,572	7,353	5,604	6,141	7,496
通訳・ガイド	4,001	4,082	3,918	4,157	4,386	3,515	2,444	1,534	2,029	2,476
計	28,368	30,528	31,245	33,512	35,058	30,714	21,055	16,664	20,310	24,446

出典：文部科学省 令和7年度「学校基本調査」より

（学生数）参考：調理製菓系学生の約3割がホテル系に就職→1.3割減

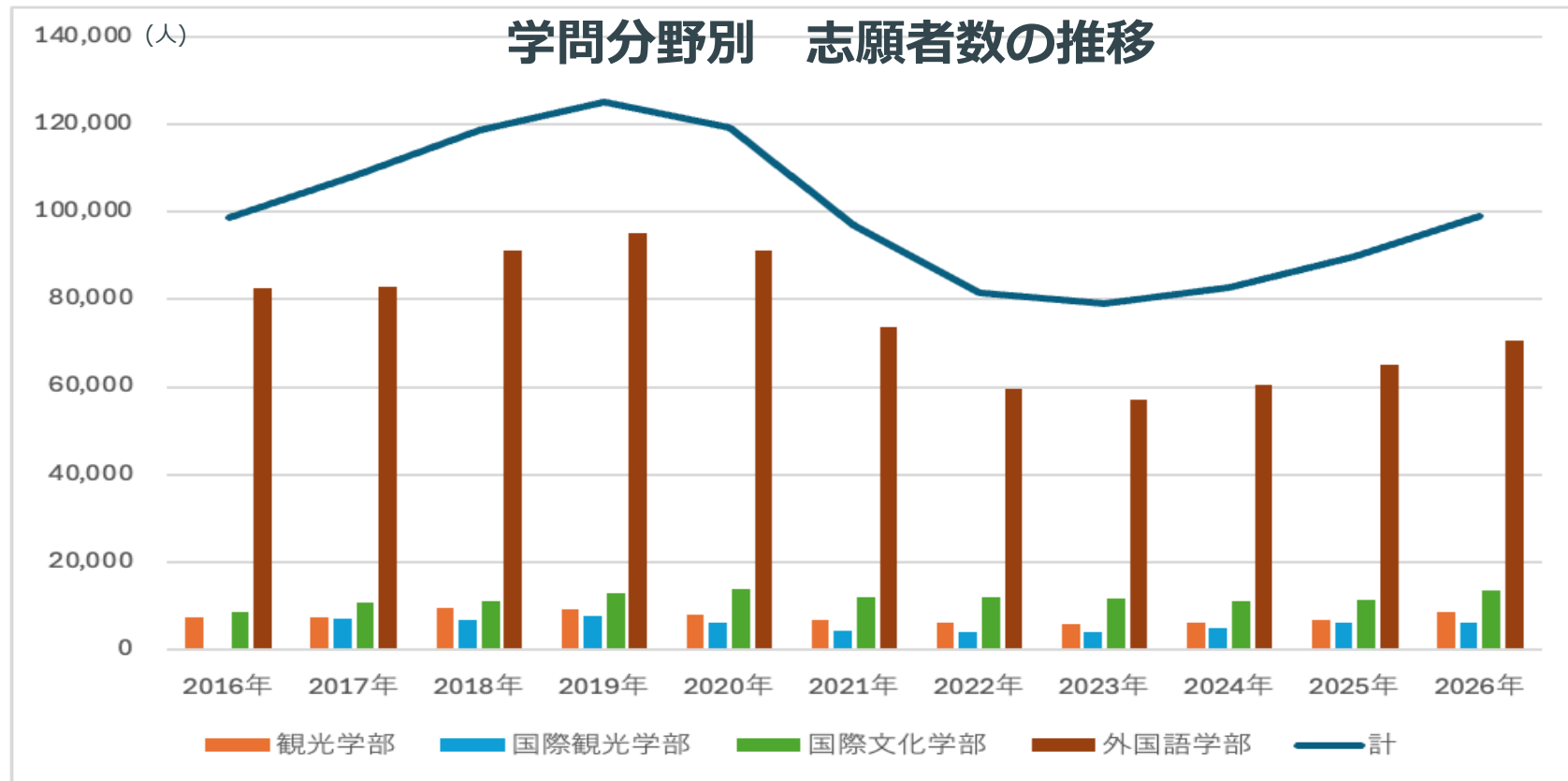


2016年 7,855人
▼
2025年 6,817人

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
調理	4,346	4,306	4,040	4,014	3,879	3,853	3,738	3,617	3,633	3,793
製菓・製パン	3,508	3,329	3,268	3,028	3,029	3,053	3,038	3,070	3,033	3,024
計	7,855	7,635	7,307	7,042	6,908	6,906	6,776	6,687	6,666	6,817

出典：文部科学省 令和7年度「学校基本調査」より

（志願者数）コロナ禍で全体36%減（外国語＞観光＞国際文化）も、回復増加傾向に！

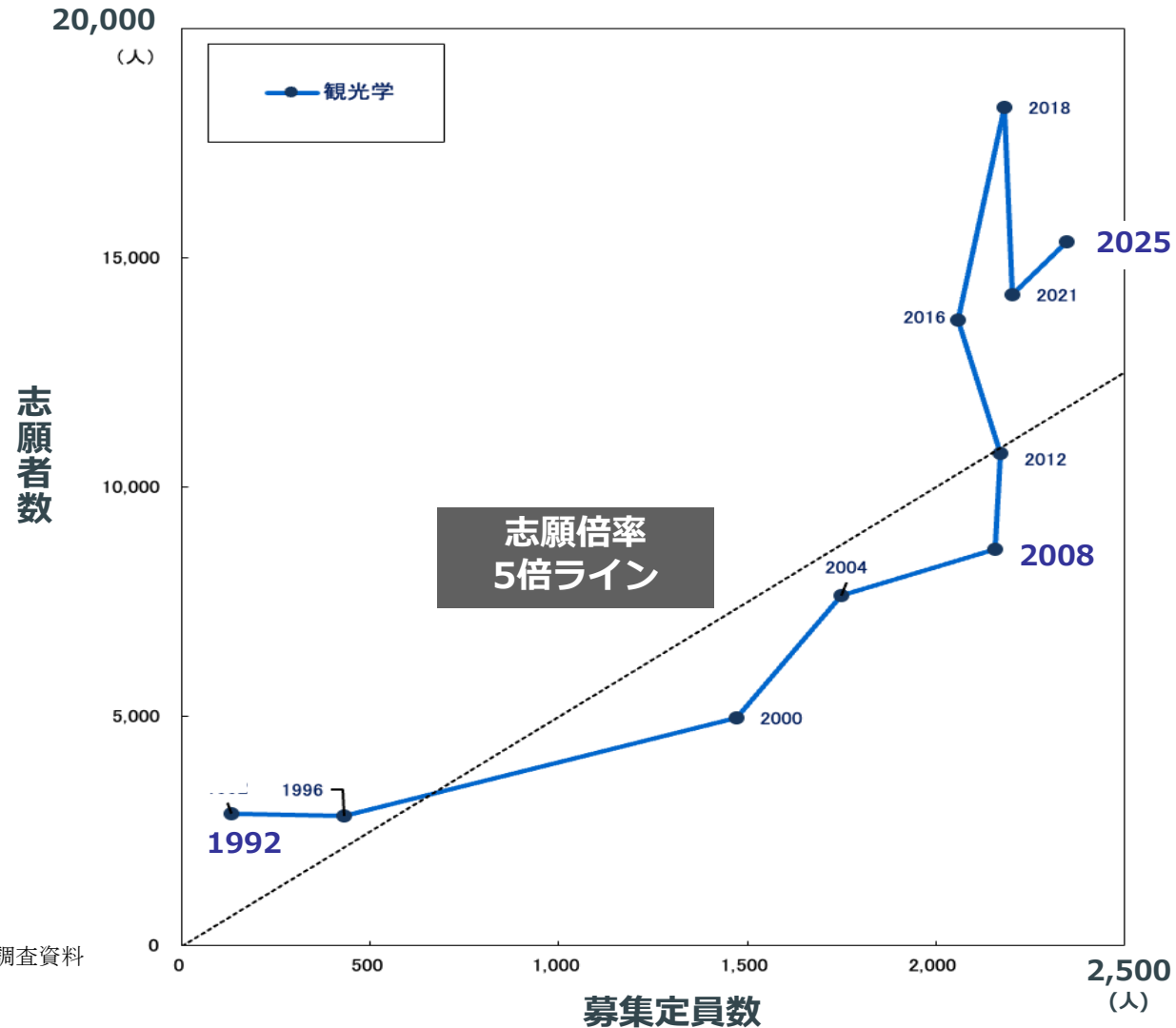


2016年 98,552人
▼
2026年 98,977人

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
観光学部	7,285	7,441	9,501	9,177	8,133	6,832	6,164	5,877	6,144	6,933	8,610
国際観光学部		7,040	6,793	7,767	6,215	4,244	3,948	4,188	5,111	6,336	6,250
国際文化学部	8,734	10,910	11,215	12,862	13,868	11,892	11,883	11,590	11,014	11,333	13,421
外国語学部	82,533	82,802	91,261	95,158	91,083	73,790	59,645	57,251	60,509	65,226	70,696
計	98,552	108,193	118,770	124,964	119,299	96,758	81,640	78,906	82,778	89,828	98,977

志願者数約5倍、定員数約18倍、観光庁発足など「観光」トレンドの2008年以降志願者急増!?

大学における
「観光学」推移

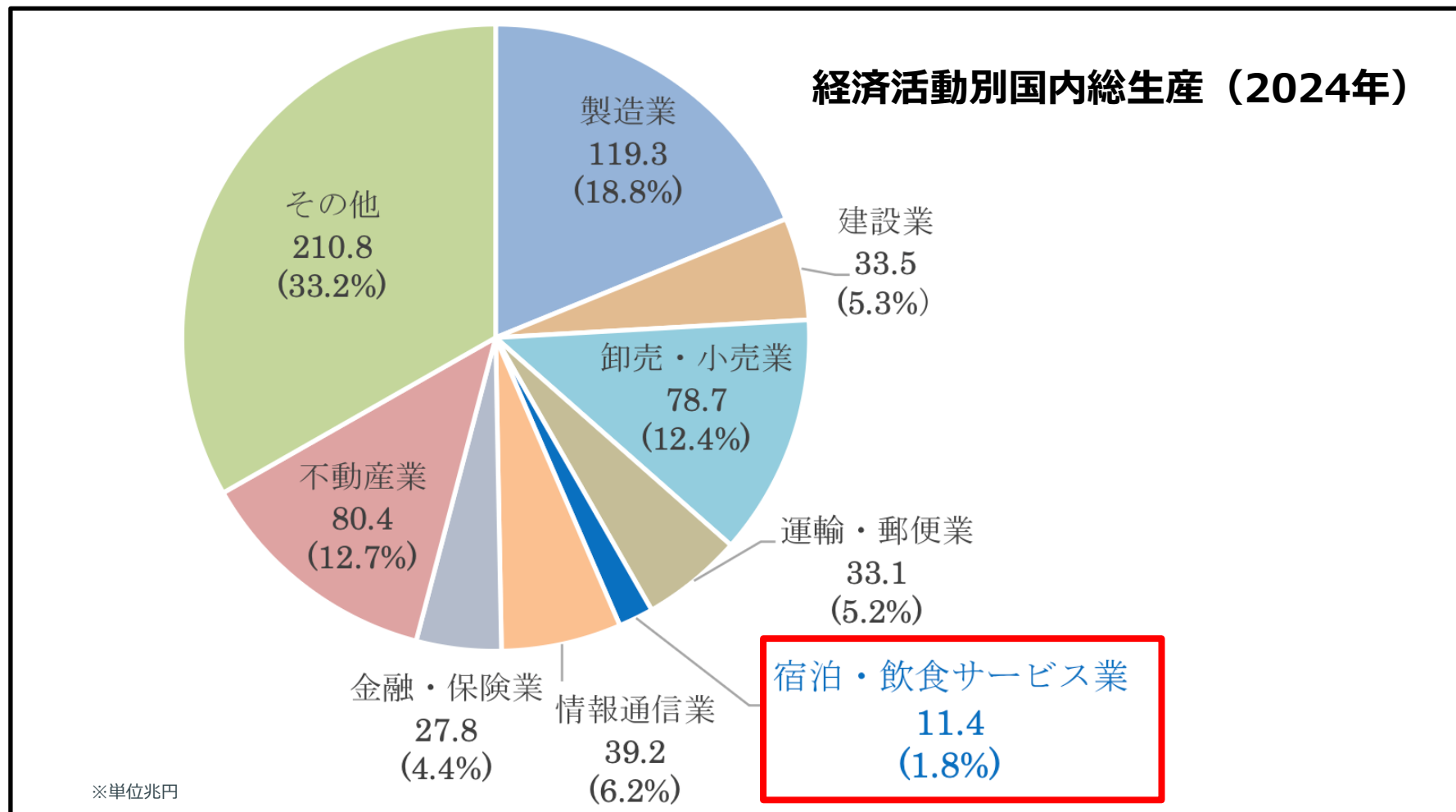


引用：リクルート進学総研 独自調査資料

大学は学部・志願者ともに増加中、専門学校は回復途上

MKT全体傾向	校種別傾向	分野別傾向	要因仮説
観光関連分野 回復増加中 (コロナ禍影響からの 脱却)	大学 観光関連分野 定員数 増加 志願者数 増加 入学者数 増加	観光：回復増加中 志願者1.5万人(5倍) ※リクルート進学総研調べ	■ 全体 2000年前後の新增設増加（国策影響も） 観光課題・地域課題解決のフェーズへ ■ 観光：インバウンド対策など総合課題へ ■ 地域：DMO、地域連携などでのエリア活性化へ
	専門学校 観光関連分野 入学者 回復 (ピークに及ばず) (旅行語学系 2.4万 + 料飲系0.7万)	国際文化：増加継続 外国語：回復増加中	
		コロナ後回復中 2016比も増加分野 旅行	■ コロナ後の需要拡大影響 ■ 社会変化対応
		コロナ後回復中も 2016比減少分野 外国語 通訳・ガイド	■ 外国語：大学志向の影響か ■ 通訳・ガイド：テクノロジーへの代替不安か

宿泊・飲食：GDP11.4兆円（1.8%）、就業者数356万人（5.2%） ※15Pの数値



引用：令和8年版観光白書（観光庁）

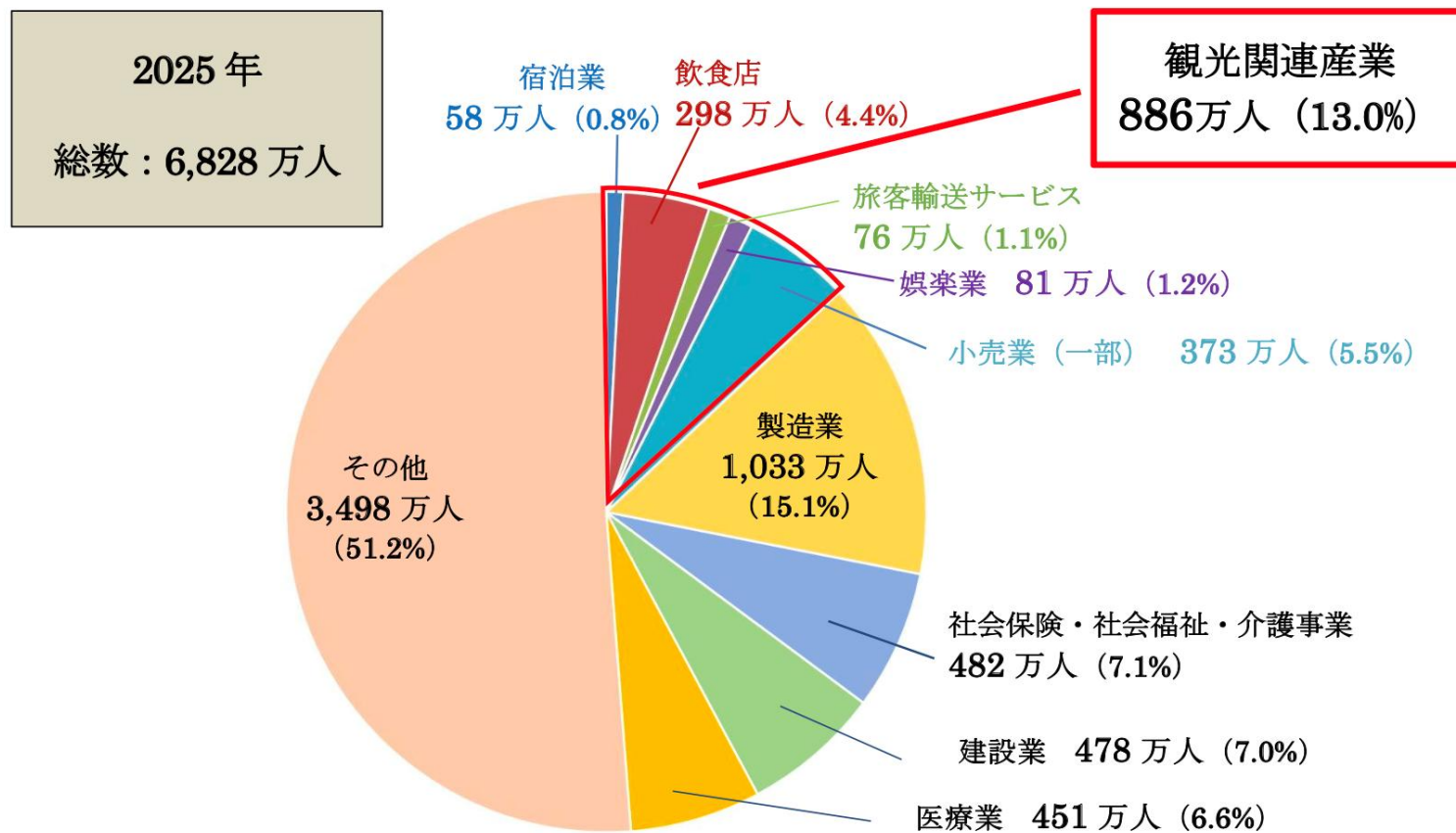
観光立国への消費目標：2030年にインバウンド15兆円(9.5)、国内30兆円(26.8) ※()内2025年度実績

目標	【2030年】 ＜青字：2024年実績値＞ ＜赤字：2025年実績（速報）値＞	【2030年】 ＜参考＞観光ビジョン ¹ の目標	【2025年まで】 ＜参考＞現行計画の目標
＜インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立＞			
1.観光客の戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立に取り組む地域数【新】	100地域 ＜26地域＞＜47地域（確定値）＞	-	-
2.訪日外国人旅行者数	6,000万人 ＜3,687万人＞＜4,268万人（暫定値）＞	6,000万人	2019年水準超え
3.訪日外国人旅行者に占めるリピーター数【再設定】 ²	4,000万人 ＜2,422万人＞＜2,761万人（速報値）＞	（見直し）…… 3,600万人	-
4.訪日外国人旅行消費額	15兆円 ＜8.1兆円＞＜9.5兆円（速報値）＞	15兆円	5兆円（早期に）
5.訪日外国人旅行消費額単価	25万円 ＜22.7万円＞＜22.9万円（速報値）＞	（見直し）	20万円
6.訪日外国人旅行者の地方部 ³ における延べ宿泊者数【再設定】 ²	1.3億人泊 ＜5,086万人泊＞＜5,873万人泊（速報値）＞	1.3億人泊	-
7.国際会議の開催件数	アジア最上位、世界5位以内 ＜アジア最大開催国、世界7位＞	（見直し）	アジア最大開催国（30%以上）
＜国内交流・アウトバウンドの拡大＞			
8.国内旅行消費額	30兆円 ＜25.2兆円＞＜26.8兆円（速報値）＞	（見直し）…… 22兆円	22兆円
9.日本人の地方部 ³ 延べ宿泊者数	3.2億人泊 ＜3.1億人泊＞＜3.0億人泊（速報値）＞	3.2億人泊	3.2億人泊
10.日本人の海外旅行者数	過去最高値(2,008万人)超え ＜1,301万人＞＜1,473万人（暫定値）＞	（見直し）	2019年水準超え
＜観光地・観光産業の強靱化＞			
11.宿泊業が創出した付加価値額【新】 ⁴	6.8兆円 ＜4.3兆円（2024年度）＞	-	-

出典：第5次観光立国推進基本計画について（観光庁）

観光関連だと・・・就業者数886万人（13%）

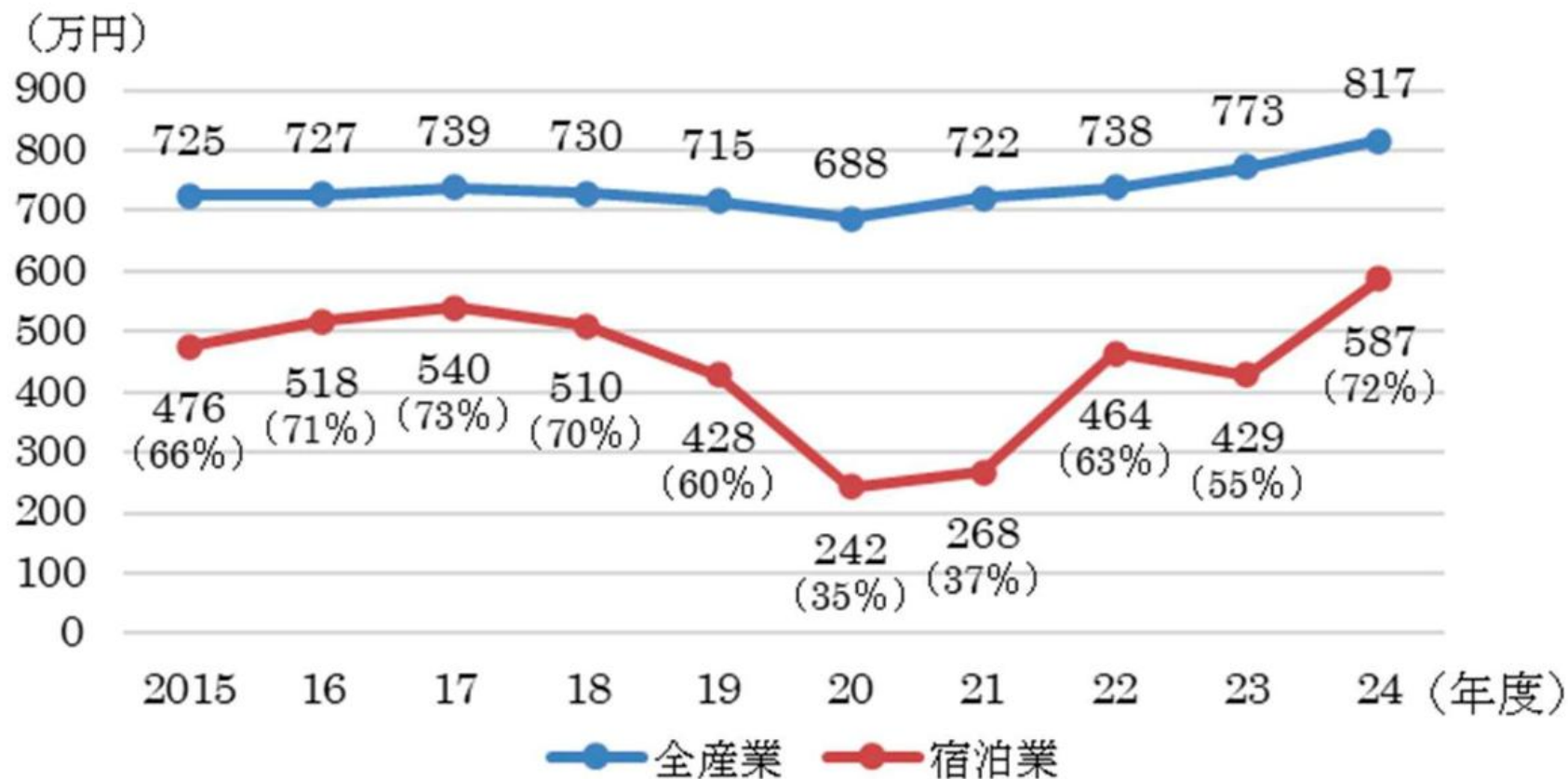
観光関連産業に従事する就業者数（2025年）



引用：令和8年版観光白書（観光庁）

「宿泊業」の生産性は「全産業」水準の72%にとどまる

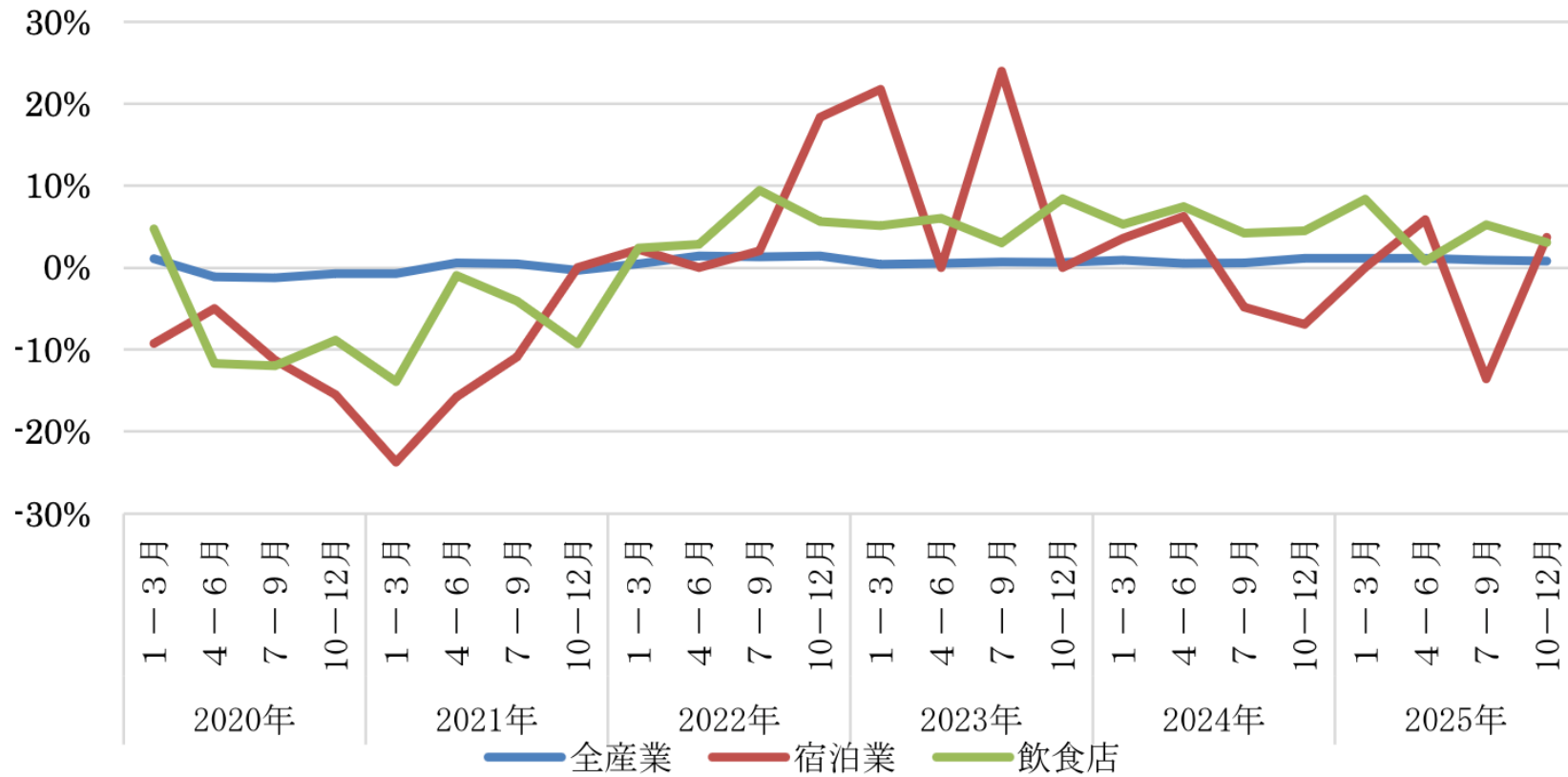
労働生産性の推移



引用：令和8年版観光白書（観光庁）

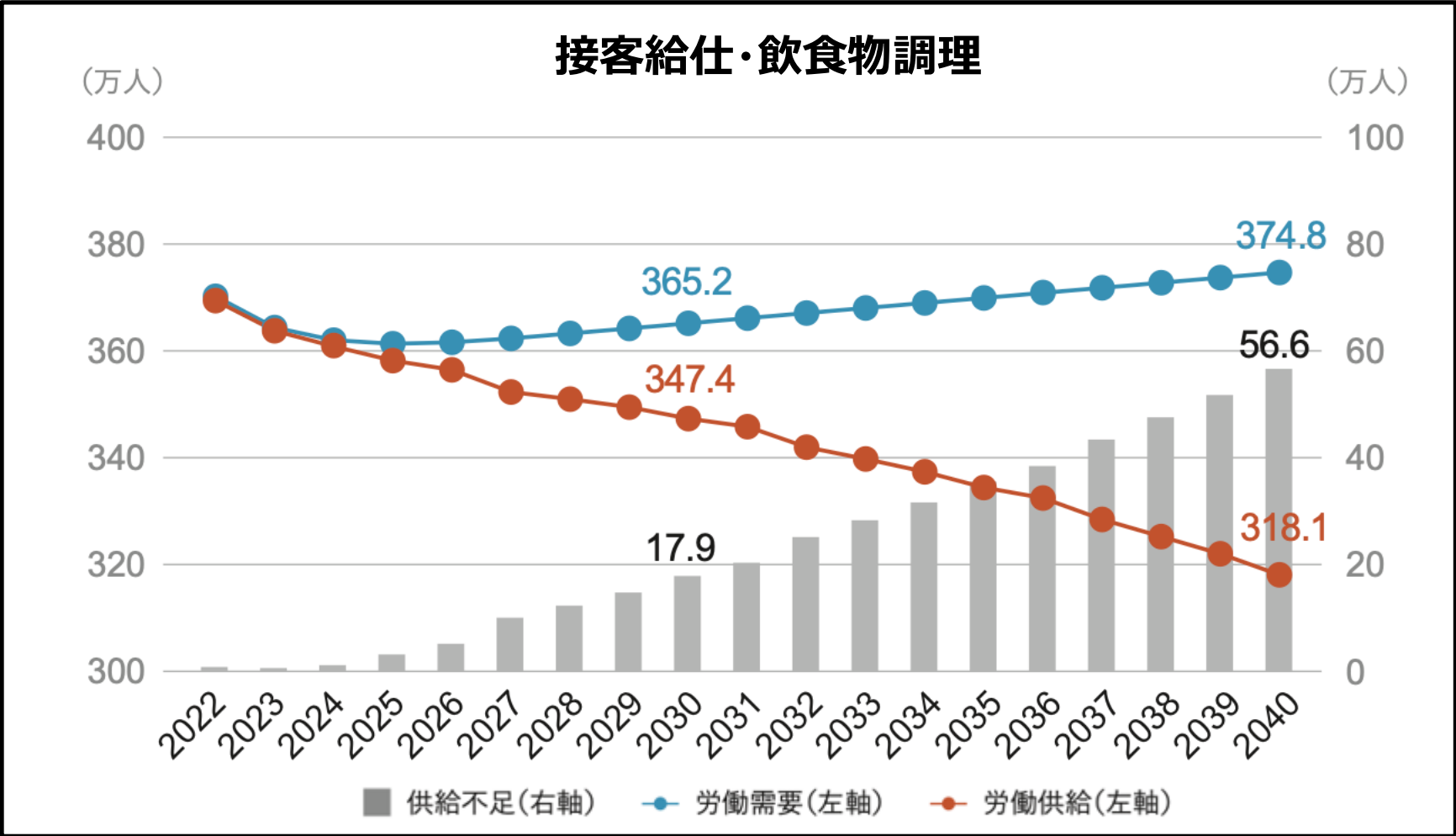
雇用状況は回復したが、伸び悩みへ

雇用者数の推移（前年同期比）



引用：令和8年版観光白書（観光庁）

観光関連産業を含む「接客給仕・飲食物調理」系は56.6万人不足（再掲）

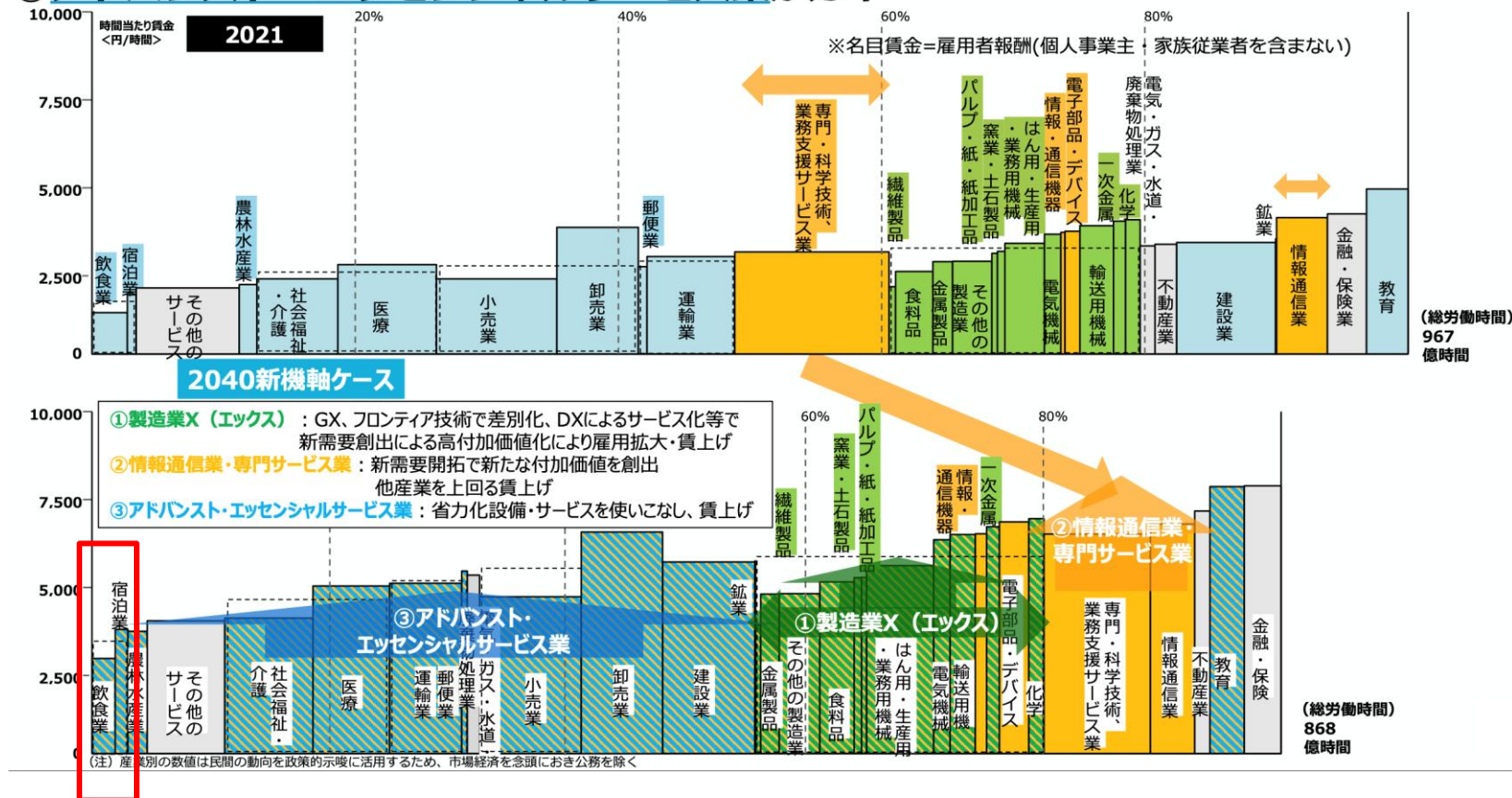


引用：「未来予測2040」リクルートワークス研究所

ポイント1：「A.E.S.」、スキルのアップデート&マルチ化で生産性を倍増!?

※A.E.W.：アドバンスト・エッセンシャル・ワーカー

将来の産業構造は、①製造業X（エックス）、②情報通信業・専門サービス業、③アドバンスト・エッセンシャルサービス業がカギ



https://www.meti.go.jp/policy/innovation_corp/entaku/pdf/data.pdf

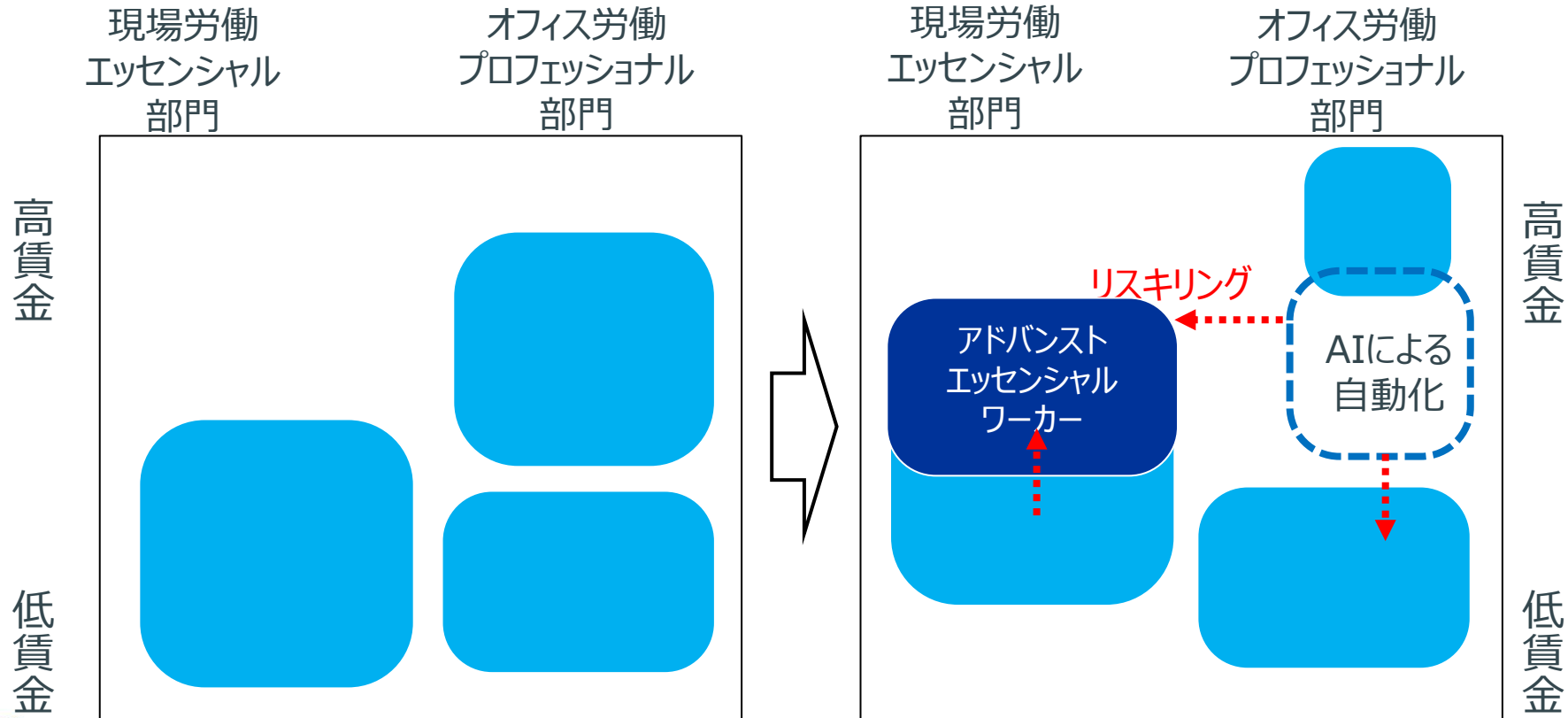
出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構 日本労働研究雑誌 2022年11月号 (No. 748) より作成

「アドバンスト・エッセンシャル」的人材 = アドスキリング + リスキリング !?

AI時代の労働シフト

【現在】

【将来】



ポイント2：価値（ホスピタリティ）マネジメント（VM）からの生産性向上

付加価値向上 → 生産性向上



経済産業局
近畿経済産業局



近畿運輸局
Kansai District Transportation Bureau

企業集 KIZASHI

旅館・ホテルで働く

スタッフの生きがいとおもてなしの両立



List

日本一給料の高い旅館にしたい
(あわら温泉清風荘)

ホテルは成長の舞台～未来を築く仲間と共に～
(ホテルポストンプラザ華津びわ湖)

当たり前なのに難しい「自分の人生を大事にする」スタッフへの想い
(京の宿 錦善旅館)

スタッフには日本経済を引っ張っている自己肯定感を持ってほしい
(SARASA HOTEL)

ホテルとは「人生」そのもの。それを支えている自負心と
(ホテルニューアワジグループ)

地域との共存共栄で地域活性化の一助に
(フェアフィールド・バイ・マリオット・奈良天理山の辺の道)

カッコイイ大人になってほしいから
(漁火の宿 シーサイド観潮、和歌浦温泉 萬波 MANPA RESORT)

地域経済に貢献する観光消費への期待が高まる中、宿泊業における慢性的な人手不足が課題となっています。

近畿経済産業局と近畿運輸局では、従業員を大切にし、人材の定着とサービスの向上に取り組む7つの旅館・ホテルをご紹介します。

詳細はこちら



Contact

近畿経済産業局
産業部 サービス・コンテンツ産業室

☎ 06-6966-6053
✉ bz-kir-creative@meti.go.jp

こちらの企業集は、noteの近畿経済産業局の
アカウントに掲載して公表しております。

各記事について、
以下の二次元コードをスキャンして
お読みいただけますようお願いいたします。

従業員を大切にし、人材の定着と
サービスの向上に取り組まれている
事例をぜひご覧ください。

日本一給料の高い
旅館にしたい

あわら温泉旅館

あわら温泉清風荘 (福井県あわら市)

■誰もが誇れるようにするために ■ 既成概念を捨てる
■日本一給料の高い旅館に

ホテルは成長の舞台
〜未来を繋ぐ仲間と共に〜

ホテルボストンプラザ草津市

ホテルボストンプラザ草津市(滋賀県草津市)

■宿泊業の人材不足対策 ■はたらきやすさ
■ホテルはひとつの村 ■エンゲージメント
■成長に繋がる

京の宿 錦華旅館 (京都府京都市)

■宿泊業の人材不足対策 ■はたらきやすさ
■おもてなし ■人生を大事に ■熱い思い

SARASA HOTEL

スタッフには
日本経済を引っ張っている
自己肯定感を持ってほしい

SARASA HOTEL(大阪府大阪市)

■従業員は10日間の長期休暇OK
■他社でも通ずるポータルサイトスキルを
■スタッフに選ばれるホテルに

ホテルとは「人生」そのもの、
それを支えている自分自身。

ホテルニューアワジグループ

ホテルニューアワジグループ(兵庫県洲本市)

■ホテル業の奨学金返済支援
■ようこそ産業SDGs推進事業チーム！
■「旅行者の人生」を支えているホテル

地域との共有・共有で
地域活性化の一助に

フェアフィールド・バイ・マリオット

フェアフィールド・バイ・マリオット(奈良県天理市)

■地域活性化 ■マリオット基準 ■宿泊業の魅力を
■フェアフィールドはのびのび ■日本を元気に楽しもう

カカロイ大人に
なりたいから

カカロイ大人(和歌山県和歌山市)

■ありがたの和(わ) ■愛される会社
■旅行好き

＜AE視点＞ 広域・複数の専門性を

※AE：アドバンスト・エッセンシャル

備えたハイブリッド人材



観光産業人材のアップデート

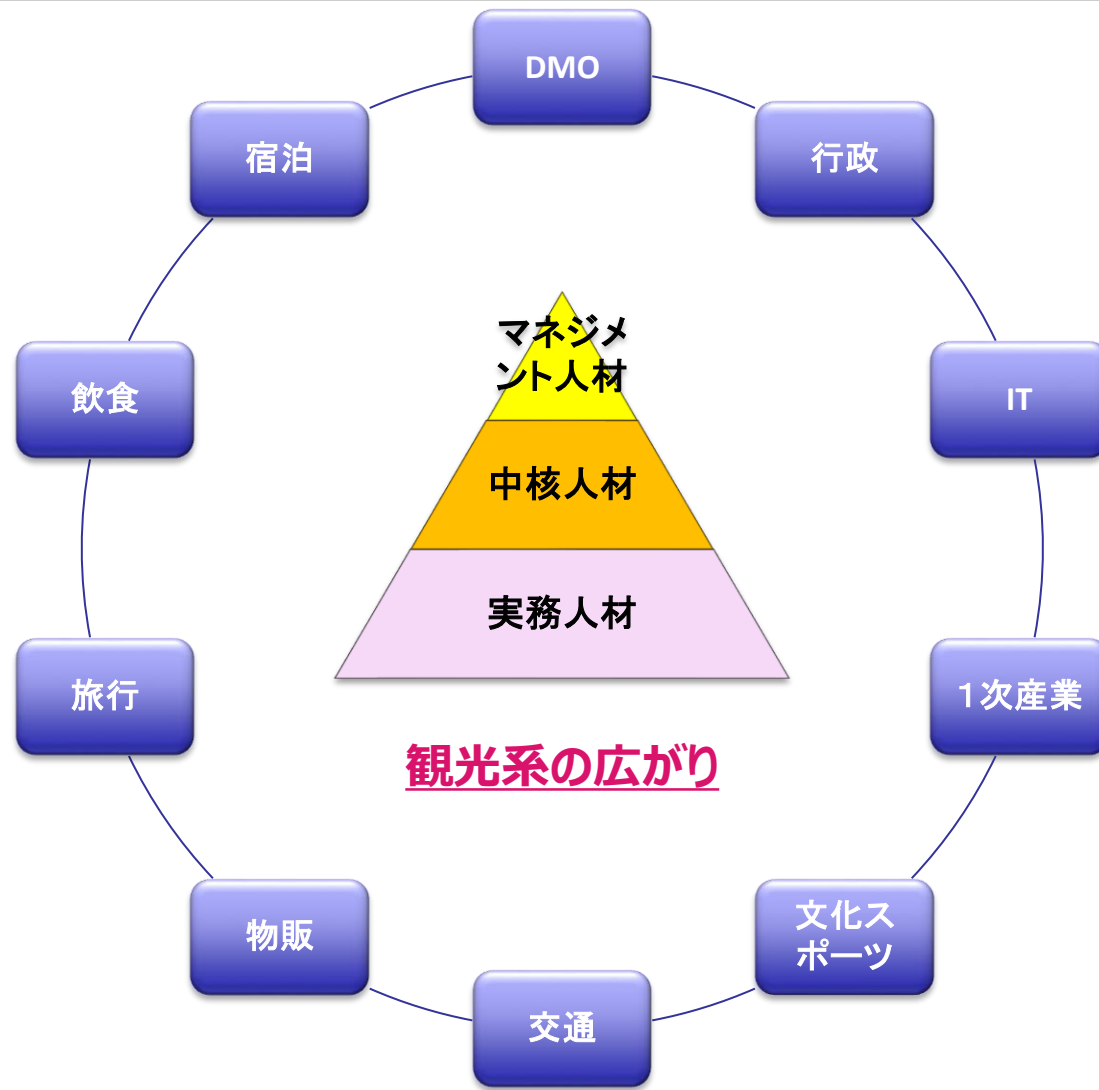


＜VM視点＞ 専門性（スキル）を

※VM：ヴァリュー・マネジメント

磨き込んだマルチスペシャリスト

観光産業分野の変化／観光関連分野の広がり



観光庁は観光地経営人材と観光産業人材の2タイプを、多分野に展開することを想定。
DMO・DMCの両輪で各地域の観光産業活性化を目指している。

観光コア領域（価値向上型）進化



宿泊プロセスDX レベニューマネジメント等

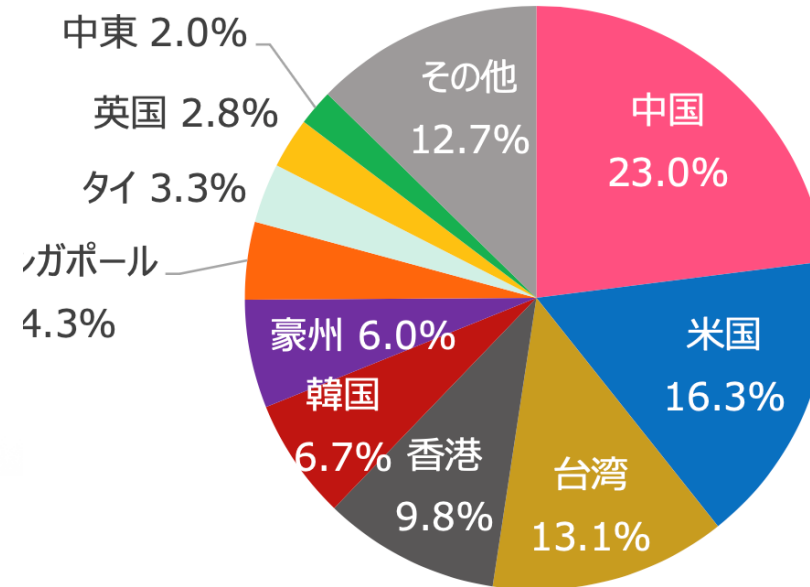


出典：観光庁「観光DX推進のあり方に関する検討会 参考資料」
https://www.mlit.go.jp/kankocho/seisaku_seido/kihonkeikaku/jizoku_kankochi/kanko-dx/content/001596703.pdf



高付加価値サービス

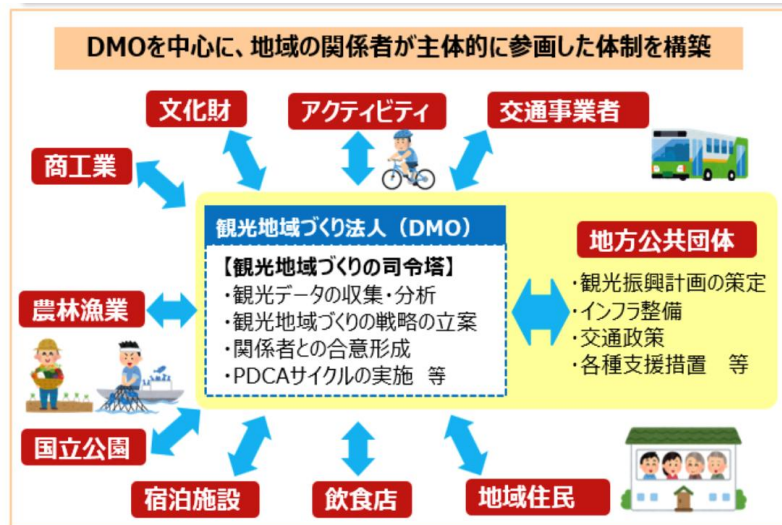
訪日高付加価値旅行消費額1.1兆円（2023年）



出典：独立行政法人 国際観光振興機構
https://www.jnto.go.jp/news/_files/20250611_1400.pdf

観光プラス領域（価値開発型）進化

観光地域づくり法人(DMO)



出典：観光庁 HP

https://www.mlit.go.jp/kankoch/seisaku_seido/dmo/dmotoha.html

〇〇トラベル・ツーリズム 特定テーマ旅行



出典：日本政府観光局 HP

<https://www.jnto.go.jp/projects/overseas-promotion/theme/>

これらは、ほんの一例！まだまだ変化／進化は始まったばかり！

価値向上型（観光コア）

- ホテル・旅館DXプロデューサー
- スマートホテルデザイナー
- レベニューマネジメント・アナリスト
- スマートルームデザイナー
- AI観光エンジニア
- トラベルチャットボット設計・運用者
- スーパーコンシェルジュ
- スリープ・コンシェルジュ
- 専門トレインクルー
- 次世代女将・仲居
- 温泉スペシャリスト
- 旅行コンシェルジュ（富裕層）
- 各種ツーリズム対応人材
- 旅行アナリスト
-

価値開発型（観光プラス）

- DMO・DMCコーディネーター
- 地域観光DX・エリアプランナー
- 地域統合データマーケッター
- 観光人流データサイエンティスト
- 観光MaaSアナリスト・プロフェッショナル
- DMPシステム管理者・アナリスト
- 観光DXアーキテクト
- スマートシティ担当（行政・自治体連携）
- サステナビリティコーディネーター
- GSTC（Global Sustainable Tourism Council）系
- ○○○○ツーリズムプロデューサー・
プロフェッショナル・ガイド
- ○○○○ストーリーガイド
- 認定AT（アドベンチャートラベル）ガイド
-

タテ軸「経営系・プロ系」×ヨコ軸「価値向上・価値開発」のゾーンフレームで分けてみると・・・

経営・マネジメント系

ビジネス
アップデーター

Xマーケット
イノベーター

価値向上型
(観光コア領域)

アドバンスト
プロフェッショナル

Xボーダー
プロフェッショナル

価値開発型
(観光プラス領域)

プロ・スペシャリスト系

変化／進化事例をポジショニングしてみると・・・

経営・マネジメント系

- ホテル・旅館DXプロデューサー
- 次世代女将
- スマートホテルデザイナー
- レベニューマネジメント・アナリスト
- スマートルームデザイナー
- AI観光エンジニア
- トラベルチャットボット設計・運用者
- 旅行アナリスト

- DMO・DMCコーディネーター
- 地域観光DX・エリアプランナー
- 地域統合データマーケッター
- 観光人流データサイエンティスト
- 観光MaaSアナリスト・プロフェッショナル
- DMPシステム管理者・アナリスト
- 観光DXアーキテクト
- スマートシティ担当（行政・自治体連携）

価値向上型 （観光コア領域）

ビジネスアップデーター

アドバンスド・プロフェッショナル

- スーパーコンシェルジュ
- スリープ・コンシェルジュ
- 専門トレインクルー
- 次世代仲居
- 温泉スペシャリスト
- 旅行コンシェルジュ（富裕層）
- 各種ツーリズム対応人材

Xマーケットイノベーター

Xボーダープロフェッショナル

- サステナビリティコーディネーター
GSTC（Global Sustainable Tourism Council）系
- ○○○○ツーリズムプロデューサー・
プロフェッショナル・ガイド
- ○○○○ストーリーガイド
- 認定AT（アドヴェンチャートラベル）ガイド

価値開発型 （観光プラス領域）

プロ・スペシャリスト系

今後の観光産業に、この3つの視点は不可欠
教育コンテンツへの接続と探求で、学びのアップデートを！

高付加
価値

サステ
ナブル

DX

現況

- ・観光産業分野の人材不足は今も2040年も厳しい予測
- ・専門学校、大学からの人材輩出数はコロナ禍から回復中、継続的傾向か？
- ・観光産業マーケットはコロナ禍から回復、2030年インバウンド15兆円・国内30兆円をターゲットに成長中（人材不足問題は継続か）
- ・付加価値向上を支える人材育成が急務！

進化／変化

- ・アドバンスト・エッセンシャル&バリュー・マネジメント視点での人材アップデートを
- ・観光産業はアセット「価値向上」とオプション「価値開発」の2軸で進化
- ・経営マネジメント系とプロ・スペシャリスト系、観光コアとプラスの4ゾーンに整理が可能
ビジネスアップデーター、Xマーケットイノベーター、
アドバンストプロフェッショナル、Xボーダープロフェッショナル
- ・「国内orインバウンド」×「高付加価値・サステナブル・DX」と4ゾーン（視点）で進化は無限、可能性は拡大中

- ✓ 業界（社会）変化のキャッチアップと、
必要となる（される）人材のイメージを！
- ✓ 教育&育成可能人材（アセット・オプション別で）整理・確認し、
ゾーンフレーム等で新しい「学び」の方向性の探究を！
（デジタルスキル視点は必須かも・・・）
- ✓ 卒業生のキャリア変化にも、「新しい学びのヒント」がたくさんありそう！



スタディサプリ

ご視聴ありがとうございました。

高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。
「リクルート進学総研」

リクルート進学総研

